

コミュニケーション能力を育むことを目指した体験的な学習の系統性

総合的な学習の時間

単元「職場体験で学んだことを小学校6年生に伝えよう」

【大竹市立小方中学校第2学年】

時期	道徳	教科等	総合的な学習の時間	特別活動	
9月		教科「国語」 単元「プレゼンテーションの仕方や聞き方・応答の仕方」 ※ねらい：報告や意見発表などのために簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成する。 【ア】：人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	単元「職場体験のまとめ」 ※ねらい：5日間の職場体験で学んだことをまとめ、発表の準備をする。 【ア、ウ】：人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。		
10月	「謙虚に学ぶ広い心」 2-(5) ※ねらい：それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの方や考え方がることを理解して謙虚に他に学ぶ広い心をもつ。 【ア、ウ】：他者のよさや感情を理解し、尊重する。より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。	教科「美術」 単元「展示物のレイアウト」 ※ねらい：伝えたい内容を図や写真等映像メディアなどで効果的に美しく表現し伝達・交流する。 【イ】：必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。		単元「交流授業」 ※ねらい：小学校6年生を対象に、6つの事業所における職場体験を発表する。 【ア、イ、ウ】： <中学生> 体験的な学習活動とおして学んだこと等をまとめ、分かりやすく発表することができる。 <小学生> 職業の意義について考え、将来の夢を目指して努力しようとする。	
11月	「強い意志1-(2)」 ※ねらい：より高い目標を目指し、希望と勇気を持って着実にやり抜く強い意志をもつ。 【ウ】：将来の進路希望に基づいて当面の目標を立てその達成に向けて努力する。	教科「技術・家庭」 単元「プレゼンテーションソフトの使い方」 ※ねらい：ソフトウェアを目的に応じて選択し、表現や発信をする。 【イ、エ】：必要に応じ、獲得した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。			単元「進路情報の収集」 ※ねらい：3年生から上級学校に関する発表を聞き、今後の進路決定に役立てる。 【イ、ウ】 上級学校等の種類、特徴及び職業に求められる資格や学習歴が分かる。将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたいコミュニケーション能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった体験的な学習の授業実践例(中学校)

情報収集・探索能力育成の視点を取り入れた授業

総合的な学習の時間

単元「職場体験で学んだことを小学校6年生に伝えよう」

【大竹市立小方中学校第2学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- 職場体験を終えた直後に記録を活用して、発表原稿、掲示資料としてまとめ、発表するという学習を通して、職場体験で学んだことを整理している。
- 効果的に伝わるようにレポートをまとめることを通して、情報収集・探索能力を高め、さらに、職場体験で学んだことを生徒に意識化させている。

1 学年 第2学年

2 単元名等 総合的な学習の時間「職場体験で学んだことを小学校6年生に伝えよう」

3 単元(題材)の目標

- 体験的な学習活動を通して学んだことや得た情報を整理・収集・活用し、まとめることができる。
- 相手や場に応じて伝える内容や、伝え方について工夫することができる。
- 具体例を挙げながら、小学6年生に対して伝えたいことの中心を分かりやすく伝えることができる。

4 指導と評価の計画(全18時間+1時間)(本時の授業・代表者のみの発表となるため)

次	学習内容 (時数)	評 価				評価規準 【キャリア教育の視点】	評価方法
		自他 理解 能力	情報 活用 能力	課題 解決 能力	情報 伝達 能力		
1	職場体験 直後のま とめ(2)			○	○	まとめ方について確認し、内容を整理している。	作品法(ワークシート)
2	レポート をまとめ て学んだ ことを生 かす(8) (本時2, 3時間目)	○	○		○	発表に向けて、職場体験中にまとめた資料から必要な項目を選び、発表原稿を作成している。 発表原稿を基に、小学6年生に理解できるような展示物を作成している。 【情報収集探索能力】	作品法(発表原稿) 作品法(発表原稿, 展示物)
3	発信する (3)	○			○	相手に応じて分かりやすく説明し、質問等に適切に答えている。 ふり返りを基に、自分が行った説明について成果と課題を整理する。 【コミュニケーション能力】	観察法(発表) 作品法(ふり返しシート)

5 本時の目標

- 「職場体験の記録」から小学6年生に伝えたいことを選び発表原稿の下書きを書くことができる。
- 職場体験レポートの発表原稿を作成することを通して、情報を選択・活用し、自己の進路や生き方についての考えをまとめる。【情報収集・探索能力】

6 本時の指導過程（2時間連続による指導過程の授業である。）

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	<p>本時の目標について確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>小学6年生に発表する職場体験レポートの発表原稿を書く。</p> </div>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時で作成する発表原稿の校正について理解する。 ○ 1, 2の順にまとめる。 ○ 「3 体験を通して学んだこと、感想など」について整理する。 ○ 整理した情報を基に原稿の下書きを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時でまとめる3つの内容を示す。 <ol style="list-style-type: none"> 1 職場体験する職種を希望した理由 2 職場体験中における個人目標とその目標に決めた理由 3 職場体験を通して学んだこと。 ・ 事前学習で書いたワークシートなどもふり返りの資料として活用させる。 ・ 自分が伝えたいことは何かというテーマを明確にさせ、「職場体験の記録」を基に、発表原稿に活用する情報と活用しない情報に分けさせる。 ・ 書こうと思う事柄について、「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうした」といった項目をたてて、付せん等を活用して情報を整理すると共に、文章の構成を考える。 ・ 早く下書きを終えた生徒同士で互いの作品を読み合い、気付きを交換させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験を通して得た情報を選択・活用することができる。【情報収集・探索能力】（観察法、作品法） ○ 付せんを基に、情報を整理し文章の構成を考えている。（付せん 作品法）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標及び学習内容、学習方法を確認する。 ○ 次時の予告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習が、職場体験を振り返り、職場体験で学んだことを再確認することであったことを確認する。 ・ 本時で書いたレポートの下書きを声に出して読んで、他の生徒に聞いてもらい、内容がよく理解できるかを確認し合った後、推敲することを告げる。 	